



# 須木庁舎だより 1月号 2015 NO.90



点灯期間：平成26年12月13日～平成27年1月10日



## 12/13(土) 盛大に開催! 鳥田町活性化委員会主催 「鳥田町冬まつり」

編集発行／小林市須木庁舎地域振興課 〒886-0192 小林市須木中原1757番地  
TEL. 0984-48-3130 FAX. 0984-48-2269 ホームページ P <http://www.city.kobayashi.lg.jp>  
携帯版 <http://www.city.kobayashi.lg.jp/i/>

### 第2回『竹ハラカシ』のお知らせ

厄年の方で、厄除けとして火入れをしてくださる方を募集しています。詳細は、須木庁舎地域振興課までご連絡ください。連絡先：【48-3130】

【竹ハラカシ(どんど焼き)とは?】どんど焼きは日本各地で行われる小正月(1月15日)の火祭りです。お正月に使った門松やしめ縄、お守り、破魔矢祈願成就した「だるま」などを、持ち寄り焼く、その火にあたり、お餅や団子を焼いて食べて無病息災を願うのです。

お正月にお迎えした神様をお送りする日本の伝統的な行事です。青竹を骨格とし、藁をつめて三角柱の樽を組み、これに火を投じて松飾りなどを焼きます。豪快に上がった火の中に書初めを投じて、高く舞い上がると言われます。

火力がおさまった頃を見計らって、竹にさした餅や団子を焼き、ころよく焼き上がった餅や団子を食べて無病息災を願います。どんど焼きで焼いた竹は魔除けとされ、家路につく人は持ち帰り門口に立て置きます。

### 竹ハラカシ(どんど焼き)を開催! 平成27年1月11日(日曜日)

場所：鶴園公園(片地区)

古いしめ縄・門松をご持参ください。



#### イベント案内

- 13:00～ 受付開始
- 14:00～ 振る舞い鍋
- 15:00～ 六奏太鼓
- 15:30～ 火入れ(点火式)
- 16:30～ 抽選会

\*焼くお餅は、会場に2個100円で準備します。

\*雨天時は平成27年1月18日(日曜日)に延期

お問い合わせ先：須木庁舎地域振興課 48-3130

竹ハラカシ実行委員会  
委員長 中武 剛一郎

### 市民スポーツ祭【第65回こばやし駅伝競走大会】 須木区選手紹介

平成27年1月25日(日)に、第65回こばやし駅伝競走大会が開催されます。小林市陸上競技場をスタート・ゴールとし、14区間25.6Kmを、小学校区対抗で競います。

須木地区体育振興会を中心に、小学生から一般までの14名の選手が、駅伝大会に向けて必死に練習を頑張っています。惜しくも入賞はしていませんが、その結果でも記録的には伸びてきており、昨年の1時間42秒をどのくらい縮められるかが、入賞の鍵を握ります。

総監督の前田信志さんも、「全員でタスキを繋ぎ、少しでも昨年の記録を縮めたい。」と抱負を述べられました。須木地区の皆さんも、ぜひ選手の皆さんの応援をお願いします。

区間	距離(m)	区分	出場選手
1	1,000	小学女子	岩井 めいな
2	2,300	中学男子	堀添 翔太
3	1,900	中学女子	吉園 菜智
4	1,800	フリー	古沢 智空
5	1,100	小学男子	山野 智郎
6	2,600	フリー	山栗 元一
7	2,600	フリー	栗立 昌孝
8	2,300	小学男子	東原 祐二郎
9	2,300	小学男子	平野 美紗
10	2,100	フリー	石橋 良雄
11	1,200	中学女子	永井 沙織
12	2,100	フリー	富永 田里
13	1,000	女子	
14	1,300	小学男子	

【お問い合わせ】  
須木分館 ☎ 四八・二九五四

～ 児童書 ～

『てぶくろのふたご』  
絵・二宮由紀子  
発行・理論社



ふたごのてぶくろであたか冬のおでかけが楽しみになる

～ 一般書 ～

『仕事のお守り』  
編集・ミシマ社  
発行・ミシマ社



皆様に贈る「お守り言葉」金

須木分館の旬な情報や話題をお届けします。おすすめ本の紹介)

# 須木地域協議会だより

須木地域協議会では、毎月1回、須木地区の事業に関することや、須木地区の活性化などを協議する「地域協議会」を開催しています。以下、11月に開催された地域協議会の主な内容を紹介します。

11月26日(水)開催

- (1) 四万十ドラマ陸地履正氏来市に係る意見交換会の開催について  
市民協働課より12月11日・12日に行われるセミナーと意見交換会について参加依頼がありました。
  - (2) 太陽光発電所建設計画の中止について  
農業振興課より、太陽光発電所建設計画が中止となり、12月議会において特別会計の廃止と補正減額する旨、説明がありました。委員より、白紙ではなく、周辺地も含めた用途を検討するよう意見が出され、今後担当課及び地域協議会でも検討していくことになりました。
  - (3) 小林市地域活性化交付金事業の審議について  
申請団体：竹ハシラカシ実行委員会  
事業名：竹ハシラカシ(どんと焼き)  
申請のとおりに承認されました。(申請額：30万円)
  - (4) 地域協議会として今後重点的に取り組む課題について  
委員より須木庁舎の存続等、地域自治区廃止後の須木地区の在り方について十分協議すべきとの意見が出されました。
  - (5) 合併特例債・過疎債について  
合併特例債・過疎債について事務局より説明を行いました。その中で委員より、ダム周辺の土地を購入し活用したかどうか、視察等を計画して欲しいなどの意見が出されました。
- 今後、須木地区の活性化のために協議を進めて参りますので、ご意見等がありましたら、地域振興課(TEL48-3130)までご連絡ください。

## 年末年始のお知らせ

- ◎須木庁舎窓口業務について  
12月27日(土)から1月4日(日)まで業務を休みます。ただし、この期間の戸籍の届出(婚姻届、死亡届、出生届など)は、受け付けます。(須木庁舎：48-3111)
- ◎かじかの湯/年末年始営業について  
12月31日(水) 10:00~18:00  
1月1日(元日) 10:00~21:00  
1月2日(金) 8:00~21:00  
1月3日以降は通常営業を行います。(すきむらんど：48-2480)

- ◎須木診療所の休診について  
12月30日(火) 午後～  
12月31日(水)～1月4日(日) 休診  
(須木診療所：48-2025)

- ◎須木歯科診療所の休診について  
12月30日(火)～1月4日(日) 休診  
(須木歯科診療所：48-2551)

- ◎ゴミ収集について  
\*年末\* 12月30日(火)まで通常どおり  
清掃工場 12月30日(火)まで通常どおり  
\*年始\* 1月5日(月)から通常どおり収集  
清掃工場 1月4日(日)から通常どおり自己搬入  
(生活環境課：23-8122)  
(清掃工場：24-0909)

## 「地域おこし協力隊」2人目の隊員が着任!



氏名：石黒 珠美(いしぐろ たまみ)  
出身：神奈川県茅ヶ崎市  
趣味：旅行・F1観戦  
在住地区：下九瀬地区

【今後の抱負】  
12月1日より「地域おこし協力隊」として須木庁舎地域振興課へ着任致しました。着任してからすぐに、居住地区の「烏田町冬まつり」のイルミネーション飾りつけに、参加させていただきありがとうございます。完成したイルミネーションが、点灯した時は、なんとも言えない美しさに、とても感激しました。これからもっと須木について知り、幅広い年齢の方ともお会いし、お話しをしたいと思います。今後とも、よろしくお願いたします。

# 今後の活動に期待! 須木地区のきずな協働体 「すきむらづくり協議会」設立

平成26年11月29日(土)に、須木地区のきずな協働体として、「すきむらづくり協議会」が発足し設立総会が、ふるさとセンターにて開催されました。この協議会は、『安心づくり』『元気づくり』『むらづくり』の3つの大きな柱をテーマに、部会559名を中心に、様々な事業を行い、現在の須木地区、未来の須木地区を支える活動を行っています。

総会に出席した肥後市長は、「各地域の特性を活かした地域づくりが大事であり、持続あるまちづくりを目指して頑張ってもらいたい。須木地区の持つ地域力を向上させてもらいます。ますの活性化に期待しています。」と述べられました。

すきむらづくり協議会会長に就任した、金松勲会長(麓区長)は、「専門部会や会員を増やしていきながら、一人一人が協力して、須木の地域づくりに取り組んでもらいたい。会員の皆さん、頑張っ



いきますよう。」と活動に向けて、熱意を話されました。今回、協議会全体のテーマとして「将来に渡ってみどり豊で笑顔の絶えない安心安全な須木を育む」を策定し、平成26年度の取り組みを行っていく予定にしています。

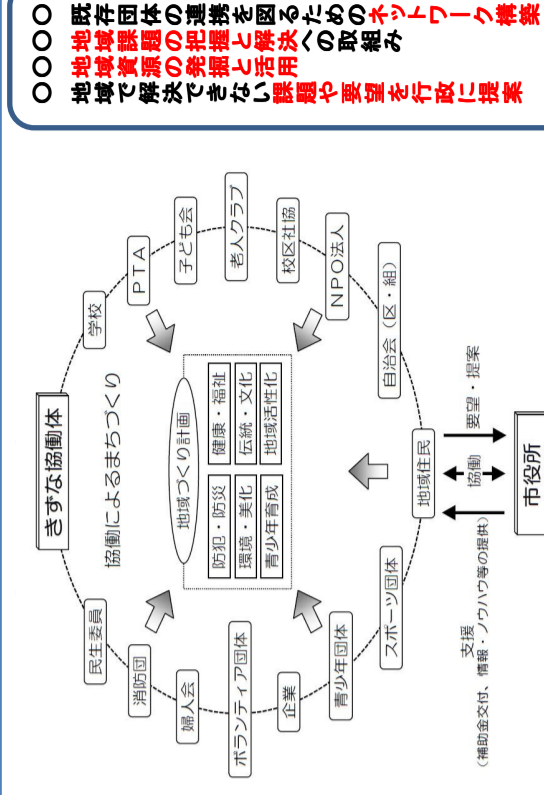
## 【3つの部会を設立】

- ①『安心づくり部会』  
協働により、「九州一安心安全なまち小林市」の実現に向けた、須木ならではの活動。
- ②『元気づくり部会』  
地域住民一人ひとりが、互助・互恵の精神で自主的に各区あふれる持続可能な地域「すき」を目指す地域づくり活動
- ③『むらづくり部会』  
須木地区の活力源となる積極的な活動



## 〇きずな協働体とは→まちづくりのための連携体

役割を把握・分担・協力する地域組織づくりを目指す!



地域では自治会や老人会、ボランティア団体それぞれ役割をもったコミュニティが地域活動を展開しています。同じく、市民もリサイクルや清掃活動等の地域活動に参加しています。じつは、みんな「協働」しているのです。

## 〇自治会や活動団体の現状

- ①自治会への加入率低下(慣習の風化)  
世帯加入のため活動人の減少が著しい。
- ②地域リーダー層の高齢化・後継者不足  
地域活動が出来ない、役員のなり手や次世代担い手が不足。
- ③行政サービス(住民要望)の多様化  
自治体財政の悪化。